

1 研究主題

「コミュニケーション能力と豊かな国際感覚の育成」
 ～デジタル教科書の活用と ICT を活用したペア・グループ活動の実践を通して～

2 研究の具体

本校では、教育課程特例校で実践を重ねている強みを生かして、ICT を活用したペア・グループ活動を実践し、即興性を取り入れた言語活動とともに、自分の思いを言葉や態度で表すことができるようなコミュニケーション能力を身につけられる授業の実践を行っている。また、身近な話題で話したことを英語で書く活動を通して、「話すこと」と「書くこと」を関連付けた活動も取り入れてきた。

これらの取組に、学習者用デジタル教科書の有効な活用法や、ペア・グループ活動等での効果的な ICT の活用法についてさらに研究を重ねていくことで、更なる英語教育の推進と、教員自身が英語によるコミュニケーション活動への理解を深め、指導の個別化や一人ひとりに応じた学習の個性化を図っている。

3 研究の検証及び改善の手立て

○ ペア・グループ活動や授業の振り返り等での ICT の有効な活用法について

地域発信型教材である「Meet the World」の事前学習では、タブレットを用いてグループや全体に個人で調べた内容を紹介し、紹介者に対してそれぞれからのコメントを英語で書き込み、それに対する返信を行うという活動を通して、ペア・グループ活動でのタブレットの活用を推進した。また、タブレットを用いて発表やプレゼンテーションの資料を作成する際には、発表後にそれぞれの発表者に対して個人からのコメントを英語で書き込むことで、自分の発表に関する振り返り等に活用できた。

○ 学習者用デジタル教科書や ICT を Writing 活動とつなげるための効果的な活用について

学習者用デジタル教科書を、まずは本文の内容を深く理解するためのツールとして活用することから始めた。視察や研修を通して有効な活用方法を模索し、研究を推進していく中から、自分に適した習熟度で個別に重要表現を学習し、音と文字を関連させて理解できるよう一人ひとりに応じた学習の個性化を図ることができるツールとして学習者用デジタル教科書を活用していくのが有効なのではないかという方向性が見えてきた。この活用方法を基本としてさらに有効な活用方法を模索し、今後も研究を重ねていきたい。

○ 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や国際感覚を養うことができるような ALT との交流の在り方について

毎年実施している標準学力検査において、教育課程特例校で実践を重ねている日々の取組の成果が表れていると思われる。特に、4領域のうち「話すこと」において、テーマを与えて話したり、相手や目的意識を持って話したりする活動を取り入れてきた継続的な指導が成果に表れていると思われる。それらの学習の成果を試す場として、県内から ALT を招き、生徒が英語でのコミュニケーションを図る「Meet the World」を開催し、ALT との交流を通して国際感覚を養うことができるようにしている。ただ、香川県学習状況調査からは、読み取った内容から自分の考えをまとめて書く活動に課題がみられる。「話すこと」で身につけている力を基盤として、「書くこと」に対して自信を持って取り組めるよう学習者用デジタル教科書やタブレットを Writing 活動とつなげるための効果的な活用についてさらに研究を進めていきたい。



今後は、直島小学校と連携して作成しているオリジナルの外国語学習指導指針(「New Teaching Plan」)に、学習者用デジタル教科書の効果的な活用が位置付けられるよう、さらに連携を深め取り組んでいきたい。また、へき地校の特性として、教職員が約3年周期で異動となる中で、今後も円滑な小中連携を目指し、系統的・継続的な質の高い授業実践を維持していくために、教員研修の充実や学習者用デジタル教科書を活用した教材開発の在り方についても、継続して研究を進めていきたい。